

救急出場の遅延事案について

この度、島尻消防署具志頭出張所において訓練中に出場指令の伝達が遅れ、救急出場遅延事案が発生しました。出場遅延の原因及び対応についてご報告すると共に、住民の皆様にご心配をおかけしたことをお詫び申し上げます。

1 発生日

令和5年7月5日(水)

2 事案の概要

具志頭出張所の全職員(6名)が庁舎屋上で訓練を行う為、本署通信勤務者へ緊急時は携帯電話で連絡するよう伝えた。その後、通信勤務者は訓練中の職員とのやり取りのなかで訓練は終了し通常待機していると誤った認識をする(実際は訓練継続中)。午後4時52分、1件目の出場指令が入り、通常どおり出場したと誤認識したため、具志頭出張所職員の携帯電話へ連絡をしなかった。午後5時に別の通信勤務者と交替したが、同じように2件目の通報でも通常どおり出場していると誤認識し、消防指令センターの確認無線が入るまで気づかなかった。

結果として、1件目は出場指令から28分後、2件目は出場指令から15分後の出場となる。

3 事案発生の経過

- 16時51分 消防指令センター覚知(90代男性、発熱38度、意識あり)
- 16時52分 消防指令センターより出場指令(1件目)
- 17時00分 通信勤務者交替
- 17時04分 消防指令センター覚知(80代男性、施設主治医から血液検査の為)
- 17時05分 消防指令センターより出場指令(2件目)
- 17時14分 消防指令センターより「1件目の救急事案の対応はしていますか」と確認の無線が入り2件の救急未出場と気づく
- 17時20分 2件の救急事案に救急車(2台)が出場し救急対応にあたる

傷病者状態(7月7日現在)

1件目 90代男性は入院治療中

2件目 80代男性は検査入院治療中

搬送先医療機関の医師による医学的見解

出場の遅延による傷病者への悪影響の可能性はないとの見解を得ています。

4 事後対応等

翌日午前中に傷病者家族及び施設へ謝罪を行うと共に、7日までに関係職員を招集し事案の再発防止に向けて出場指令の確実な伝達を周知徹底しました。

二度と同様の事案が発生しないよう、対象職員の詳細な調査、検証を行った後再発防止の徹底はかり、住民の皆様方の信頼を得られるよう努めてまいります。